

当院においては、昨年（二〇二一年）十二月十三日に関係業者、関係各位の御出席のもと起工式が執り行われ、本格的な整備事業に入つた。私はとても多くの思い出がある事務所、書院、御殿が次々と解体される様子を眺めながら、「本当にこれでよかつたのか」という不安が襲つてきた。書院解体作業のなかで、以前、火災によって焼失した御殿と書院を再建された昭和四十三（一九六九）年の棟板（建設協力者の銘板が書院の屋根裏より写真は四頁に掲載）が発見された。

多くの方々の多大なるご尽力により、建立された御殿であり、書院であることを報（しら）され、皆様の願いが建物の姿となつていることに、改めて身の引き締まる思いに立ち返らされた。また、二〇二二年一月十九日には、当院の隣地の『ホテルオークラ京都 岡崎別邸』のオープニング式典が仏式にてコロナ感染拡大のなか関係各位のご出席のもと厳かに執り行われた。（二頁に写真掲載）別院の本堂改修、書院と会館新築の各工事の契約は、すで

「人間よ！本当の人間になつてください」と  
私を願い念じてくださる仏と共に歩む



第51号  
令和4年  
(2022年)  
4月・5月・  
6月  
発行：編集  
岡崎別院  
輪番 福田 大

に完了されているものの、木材不足（ウッドショック）などの諸事情による建築資材の高騰や世界各國のコロナ感染急拡大により、半導体が内蔵されている住宅機器や給湯機の品不足、また、コロナ感染拡大による、度重なる整備委員会の会議延期や中止など、不安のなかでの整備突入となつた。それに反するように建築費用の膨らみなど想定外限られた予算、決まらぬ落慶法要厳修の時期、日々が続いている。想定外の事柄の中で、どこまでいること、やろうとしていることは、坊さんの姿ではない。もつと言うならば、もはや人間の姿でも無いかも分からん」ということを思はせられない請負の各業者諸氏、緊張の中で「俺の言つた御殿と書院を再建された昭和四十三（一九六九）年に新築工事事業を成された方々も同じようなご苦労をされたのではないか。施主側（別院関係者）と請負業者各氏の立場は違えども、両者の一致するところは、良い建物を造りたいということである。両者のその思いがそこにある以上、どこかで着地の接点が見えてくるようだ。計り知れない闇の中で、「人間よ！本当にになつてください」と私を願い、念じ、ともなる歩みを進めさせて頂きたいことであ



## 書院御殿再建時 棟板

書院御殿再建時の棟板です。その当時多くの方が再建にご尽力されたことが分かります。



手水舎が解体され、その柱より創建時の銘板が見つかりました。

## 手水舎解体

# 法座案内

○「歎異抄」を読む  
○四月十八日（月）九時半～

○「鏡池の集い」  
○六月十三日（月）九時半～

○「味読正信偈」  
○五月十一日（木）九時半～

○「蓮如上人を訪ねて」  
○六月十三日（月）九時半～

○「花まつり中止のお知らせ」  
○四月十八日（月）九時半～

各日程において、各法座の後に  
「蓮如上人を訪ねて」と題しまして蓮如

上人のお話をさせていただく予定です。  
本堂は使用できませんので、京都教務所

をお借りして三日講を開いております。  
ご不便をお掛けしますが、よろしくお願

## 維持費のお願い

四月より新年度となります。ご門徒の皆様には例年お願いをしておりまます。維持費のご案内を同封させて頂いておりまます。内容をご確認頂き、皆様のご協力ををお願いいたします。

\*本年度より、郵便払込の場合、用紙が発生する場合がございます。  
ご一読下さい。

別途手封手

宗史蹟親鸞聖人岡崎草庵跡  
真宗大谷派(東本願寺)

## 岡崎別院

〒606-8335  
京都市左京区岡崎天王町26

電話 075-771-2921  
FAX 075-748-1665  
<http://okazakibetsuin.com>  
[info@okazakibetsuin.com](mailto:info@okazakibetsuin.com)

いよいよ整備工事が本格的に着工します。私自身別院にお世話になり一年が経ちます。目の前のことに精一杯な一年だったようになりますが、「多くの方に支えられて今の自分がいる」ことへの感謝を忘れず二年目も邁進していく所存です。

毎年四月に開催しております、「花まつり」については、別院整備事業に伴い本年は中止とさせて頂きます。



## 整備事業進捗状況



## 本堂瓦

三月上旬に本堂の瓦が降ろされました。当院の瓦に刻まれております「京大佛瓦師井上三右衛門」について担当の方より説明をいただきました。



『〔特別調査報告書〕真宗大谷派大谷祖廟』によると、北門大棟西端の獅子口や大谷祖廟土蔵で保管されていることから、代々東本願寺に出入りしていたと考えられる。（上宗建設 川瀬氏）

二〇二一年十二月十三日に、当院総合整備工事に先立ち起工式が厳修されました。

修復前の本堂で行う儀式としてはこれが最後となり、今後一年以上の工期をかけて耐震・修復工事が行われます。輪番の挨拶では、「関係各社一丸となつてこの工事に取り組んでいこう」という言葉の後、全員で一本締めを行い、現在の本堂での最後の儀式を締めくくりました。整備工事の進捗状況は、本紙やホームページにてお知らせしていく予定です。竣工時期等についても、分かり次第皆様にお知らせしていくきます。（写真提供院議員加藤氏）



二〇二三年一月二十日、ついに当院借地境内に「ホテルオークラ京都 岡崎別邸」が開業しました。それに先立ち、一月十九日に開業を記念する式典が開催されました。式典は当初の予定より人数を縮小し、感染対策を徹底した上で開催となりました。また式後は、今回のホテルの内装を手掛けた伝統工芸を担う後継者のプロジェクトユニット「GO ON（ゴオン）」の皆様よりホテル内装の説明がありました。



## ホテルオークラ京都 岡崎別邸 開業記念式典

二〇二三年一月十九日